

「仲間」
「対等」

自己使用の範囲での複製以外の
第三者への提供を目的とした
無断複写・複製・転載を禁止します

世田谷区 ピアサポート活動 ワーキンググループ

「支えること」
「支え合うこと」

～人と場をつなぐ～



ピアサポーター

ピアサポートを
実践する人

令和4年2月3日(木)
世田谷区 障害福祉部 障害保健福祉課

自身の障害や病気の経験を強みとして活動する機会・活動 (ピアサポート活動)

- 同じく障害や疾病がある仲間に対する活動
- 地域、広く区民への啓発、理解促進

デイケア、「いっただけでピア」
食事・園芸・散歩など同じ興味や関心がある活動「ブチピア」



病院や学校、企業、地域イベント、
都や区の会議や研修などにおいて体験を語る



世田谷区
長期入院者への病院訪問支援事業
動機付け支援



訪問看護への同行など
在宅生活への定期訪問

居場所・集まり

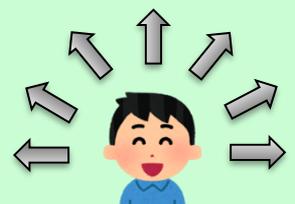


デイケア、家族会、
自主グループ、
サロンなど

就 労



世田谷区
ピア電話相談員



指定特定・指定一般相談支援事業所
などにおけるピアスタッフ

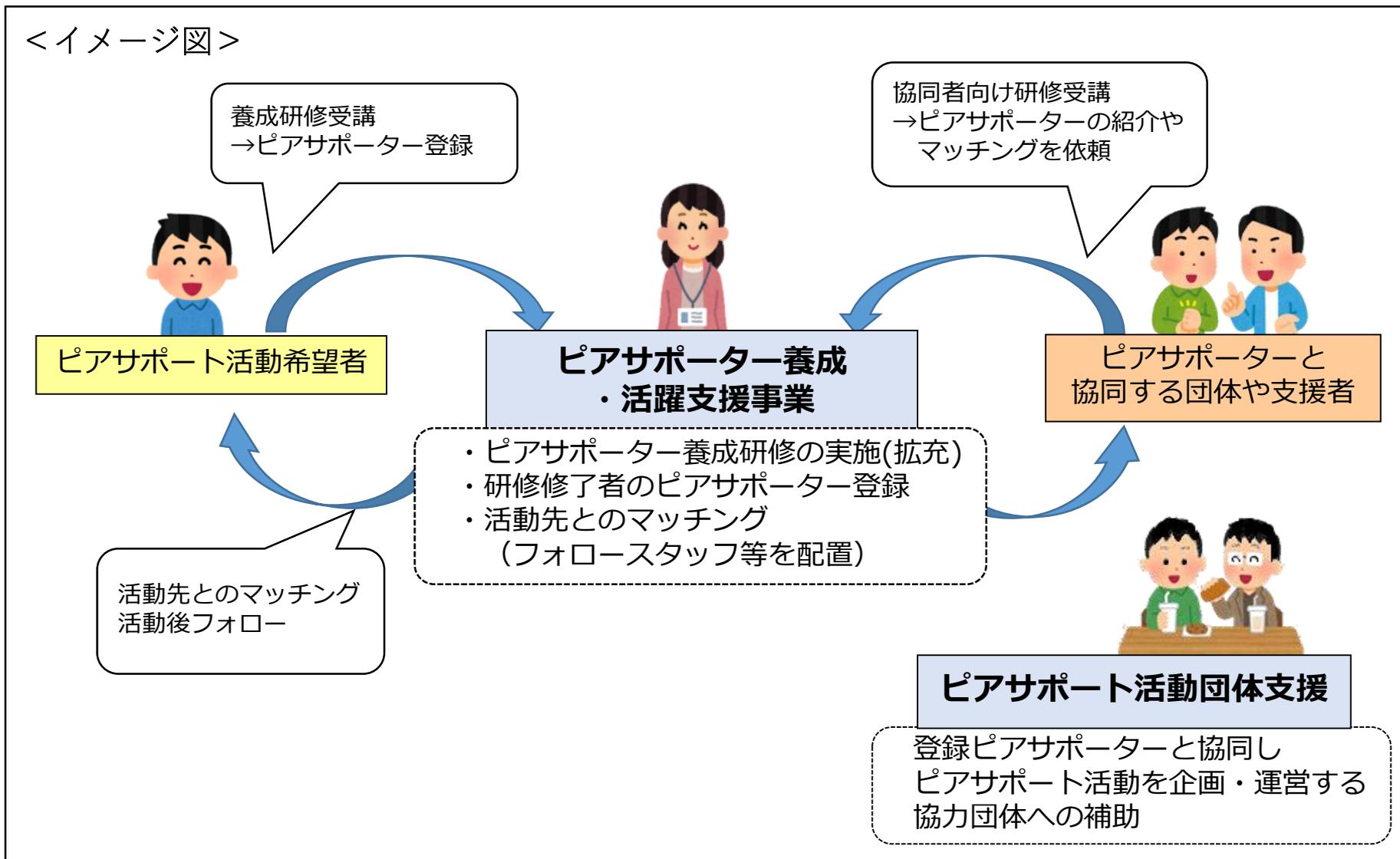


当事者が社会参加する機会の拡充

活動内容や頻度等に優劣はなく、どの活動も社会にとって等しく価値があり、尊重される。
個々の経験や心身の状況、強み、希望に応じて、当事者本人が様々な社会参加の機会を選択できる地域社会の実現。

令和4年度【新規】 精神障害ピアサポーター養成・活躍支援事業(予定)

<イメージ図>



本日のパネルディスカッション

テーマ「人と場をつなぐ」

【コーディネーター】

共立女子大学 河原 智江氏

【パネリスト】

医療法人社団風鳴会 地域生活支援センター サポートセンターきぬた

山上 亮子氏

社会福祉法人ひらいろミナル 地域活動支援センターこまつがわ 稲富 良子氏

相談支援センターくらふと 高田 晴江氏

社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会 連携推進課 遠藤 慧氏

ピアサポーターの想いを紹介



<ピア養成講座を受講して>

- ・ 自分の障害や人生の中でこれまで感じたこと、傷つき悩んだこと、乗り越えたことの全てを自分の体験談（＝リカバリーストーリー）として自分が語ることで、他者の希望や勇気につなげることができる、リカバリーのバトンをつなぐことができるということ。
- ・ 自分の体験を価値あるものと捉え、障害や病気をもつ自分だからこそ、同じような悩みや経験をもつ仲間として支えることができること。
- ・ 自分らしい生き方につながるとともに、地域における当事者の活躍の場をひろげ、力を発揮でき、誤解や偏見のない地域づくり、地域の障害理解促進、誰もが暮らしやすい社会づくりに少しずつでもつながっていくということ。

<養成講座を受講した今後の目標>

- ・ ピアスタッフになり、お世話になった病院・地域社会に恩返しがしたい。
- ・ 私がたくさん救われたように、自分もピアとして、辛い思いをして困っている人達の力になりたい。
- ・ 障害のある人もない人も、多様な個性を持った人々が、相互に理解を深め、共に暮らしやすくなる社会作りに貢献したい。

地域にあったらいいなと思うピアサポート活動(居場所・集まり)

夕飯をみんなで囲む会

カレーを食べて、みんなで好きな歌を歌いたい。



敷居の低い活動 (プチピア)

園芸、手抜き料理教室、お散歩の会など機会や場があれば自然発生的にピアサポートが発生する。

ふらっとよれる定期的なしゃべり場の会

月1回でいいから趣味の話、薬のこと、たばこのこと、ふらっとよって気持ちを置いて帰れる場がほしい。病院以外で社会とつながれる場所。

茶話会などで当事者同士が話せる場。ピア活動によって、自然なかたちで当事者が社会と触れてつながっていいと思う。



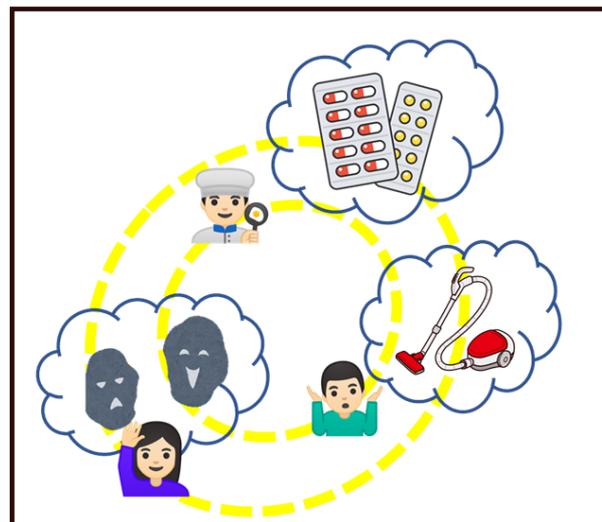
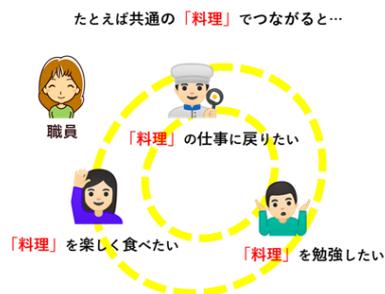
<参考> ぷちぴあの紹介（居場所・あつまり）

1. ぽーとからすやまでの取り組み

（1）つながるプロジェクト

同じような悩みごと・困りごと、興味・関心のある当事者をつなげる。
（例）食事、園芸、散歩、映画 …

終了後、当事者同士で日常生活や医療面の話題に発展する。



地域にあったらいいなと思うピアサポート活動(はたらく)

就労を継続するためのピアサポート

就労し始めた方で、せっかくスタートできたのに崩れてしまうケースがある。

ピアサポーターが悩みを聞いて支えたりすると、就労を継続できるチャンスが広がるのではないかな。

障害者雇用で10年間務めたが、障害当事者が自分一人だけでつらいと感じていたところがあった。当事者の仲間がいたら、もっと続けられたと思う。障害者雇用の場においても、2人いれば支えあっていける。

訪問看護事業所でのピアサポート

・訪問看護事業所で、精神障害当事者がスタッフとして、利用者である患者に対して「自分も同じ統合失調症だよ」と声をかけられることを役割として担えられたら、会社としての強みになると思う。

ピアサポートで賃金を得たい

ピアサポートのスキルや自分を守る知識をしっかりと学んで、ピアサポーターとして働いて、給料をもらいたい。

地域にあったらいいなと思うピアサポート活動(伝える)

教育の場で体験を語る機会

若いころから精神障害について知っていくことが大事。精神障害だけではないが、教育の場でも、当事者が思いや体験談を語り、知ってもらうことから始めるのが大事だと思う。

医療機関で体験を語る機会

当事者の体験を語る場としては、地域のスタッフ向け、患者向け、医者や他の病院スタッフに向けてももっと伝えられる機会があるといい。

他の家族に体験を語る機会

その家族によって状況は違うと思うけれど、自分はこの時こんな気持ちだったよ、とか、好不調の波はあるけれど折り合いをつけながら生活している自分の経験談を語ることで、精神障害・疾患がある方とそのご家族が将来のイメージを持ってもらえたら。

わたしたちのことを知ってもらう機会

精神障害がある人たちとつながるために、困っていることや苦手なこと。ホッと声掛けの一例などをご紹介し「理解」とその先にある「共感」があると嬉しいことを知ってもらいたい。

ピアサポート活動協同者助成事業を
活用してやれたらいいなと思う
ピアとの協同事業

“人”とつないでもらいたい
“場”の立場から

地域生活支援センターサポートセンターきぬた
山上 亮子

これまで当センターでしてきた 「ピア」とつく活動

- ・ 精神科医療ユーザーのピアカウンセリング
- ・ 女性のピアカウンセリング
- ・ 男性のピアカウンセリング
- ・ ピア活動の告知の協力

など

良い点

来たい人が来る
自主的な会

気になっていた点

始まるまで会が成立するか
わからない

ピアサポーターをお願いする、 と考えたとき頭をよぎるあれこれ

どんな人かな？

派遣元がマッチングしてくれる

わざわざ来てもらって、
人が集まらないと悪い
なあ

打ち合わせの時に
あらかじめ説明できる

活動が負担にならないかな

派遣元がフォローをしてくれる

やれたらいいなと思うこと

- テーマ別「語る会」あれこれ
 - 「統合失調症を語ろう会」
 - 「一人ぐらしを語ろう会」
 - 「近所の騒音について語ろう会」
- 家族向けに
 - 「家族の対応」「親亡き後」をテーマにした「語る会」
- 防災について
 - 地域の防災関係の活動と一緒に参加してもらおうとか...

地域の他の「場」にも訊いてみました

「この事業で活動の場として協力して、と言われたらどうですか？」

- どんなことができるのかメニューがあるといい
- 施設内の利用者さんに、ピアの違いをどう説明すればいいだろう
- 研修の回をかさねるごとにハードルが上がってしまったようだった
- 日頃やっている活動の紹介がしてもらえるとよいのでは
- まずは来てもらって、どんなことができるのかの説明をしてもらえるといい
- グループでの相談会、ファシリテートもしてもらえるのだろうか？

etc.

というわけで

ピアサポート活動が初めての場には、どんなことができるのかのメニューがあるといい

まずは来てもらって説明をしてもらえるといいのでは！

おわりです

自己使用の範囲での複製以外の
第三者への提供を目的とした
無断複写・複製・転載を禁止します

第4回ピアサポート活動ワーキンググループ

江戸川区精神障害者ピアサポーター育成事業について

社会福祉法人 ひらイルミナル
地域活動支援センターこまつがわ

2021年月日

稲富 良子



育成事業の説明の前に経緯を・・・

ひとりひとりの支援をするためには、その方々が暮らす地域とのつながりや、啓発活動、社会参加できる基盤など、地域づくり活動も取り組みたい。

8年、要望し続けて

平成31年4月

社会福祉法人ひらイルミナル設立
地域活動支援センターこまつがわ
事業開始

福祉サービスとは違う日中活動の場だからこそ、
地域とのつながり、啓発、社会参加につながる活動・交流の地活Ⅰ型をつくる

アート

アート活動で
社会参加できる
ネットワークと場
の開拓

エドてらす発足

スポーツ

スポーツ活動で
社会参加できる
ネットワークと場
の開拓

ラブこま発足

音楽

音楽活動で
社会参加できる
ネットワークと場
の開拓

ヒーリングライツ

ピア

ピア活動で
社会参加できる
ネットワークと場
の開拓

ピアサポーターが活躍できる地域をつくりたいと
江戸川区へ委託事業を提案

令和2年4月
江戸川区精神障害者ピア
サポーター育成事業

ピア普及を妨げる地域課題と挑戦

アフターフォローが少ない地域課題

ピアの専門性を持ちながら業務に取り組む難しさ、揺らぎや孤立感。また、症状と付き合いながら働くが、理解のある環境整備が出来ず離職につながることも。

個別支援、定着支援
(ピア就労の応援チーム)

ピアの仲間づくり
(ピアハートの森)

リカバリーストーリーの
ブラッシュアップ支援

活躍できる場が少ない地域課題

ピアサポーターになりたい人はたくさんいるけど、研修受講や自己研鑽を積み重ねてもピアサポーターのチャンスは少ない狭き門。(ピア加算でこれから期待！)

活躍の場の開拓

ピアの登録システム

雇用先へのフォロー
(事業者むけ研修、雇用相談)

ピアサポーター研修会
(B型、相談支援事業所は加算対象)

ピアサポーターになりたい方

※事前に地活利用と本委託事業の登録をお願いしています

ピアを知るためのプログラムがあります。
(以下例)

- ピアサポーターとして活動している人の話を聞く等
- ピアサポーターが活躍する現場の見学

実際にピアの業務を体験します。
また、グループでの学びや分かち合いを通して、仲間づくりや新たな気づきに繋がっていきます。

公募

選考

ピア研修

ピア実習

ピアサポーター
登録

新しい
選択肢

登録者には、本事業が架け橋となって「啓発活動等をしたい人」と「啓発等が必要な関係機関」のマッチングを図ります。

登録者には、本事業が架け橋となって「雇用したい人」と「雇用されたい人」のマッチングを図ります。

雇用型ピアサポーター
(定められた時間・場所で勤務)
就労支援につなぐマネジメント

ピアサポーター活動のフォローアップ・自助グループの側面的支援

ピアサポーターに興味関心があり、やってみたいという意欲がある方が対象です。ピア活動には、雇用型のピアサポーターの他に、仲間同士の活動や、障害をお持ちの方も持ちでない方も安心して暮らせるために必要な、障害の理解につながる啓発活動などもあります。

※ ピアサポーター受け入れに興味のある、協力いただける団体を大募集いたします。実習等の協力に対して謝金があります。

ピアサポーター受け入れに興味のある団体

※事前に本委託事業の協力団体登録をお願いしています

公募

ピア雇用研修

ピア実習受け入れ

• ピアを雇いたいけど不安
• どんな活躍をしてくれるか分からない
当事者の方と共にピアを知る事が出来ます。

実習を受け入れて下さる各事業者同士での意見交換の場を設け、実習終了後も継続して行っています。

ひとりひとりに必要な支援体制をつくり、就労支援へつなぎます。
雇用側の相談にも応じます。

ピアサポーターの相談はもちろん、ピア同士が繋がる場、支えあう場の応援、また、定期的な研修等、ピア活動のフォローアップをします。

| 回数 | 講義内容 | 参加者数 |
|--------|---------------------------------------|------|
| 前期第1回 | 『ピアサポートとは？』『ピアサポートの実際』 | 13名 |
| 前期第2回 | 『ピアサポートの専門性』 | 12名 |
| 前期第3回 | 『セルフマネジメント』『ピアアドボカシー』 | 11名 |
| 前期第4回 | 『バウンダリー』 | 11名 |
| 前期第5回 | 『リカバリーストーリー』 | 11名 |
| 前期第6回 | 『リカバリーストーリー発表①』 | 10名 |
| 前期第7回 | 『コミュニケーション』 | 10名 |
| 前期第8回 | 『みんなで語ろう(茶話会)』 | 9名 |
| 前期第9回 | 『障害福祉サービスの基礎』 | 9名 |
| 前期第10回 | 『支援者として働くということ』 『ピアサポーターがチームにいること』 | 9名 |
| 見学第1回 | 『MARS』 ZOOM利用 | 9名 |
| 見学第2回 | 『たすきがけ』ZOOM利用 | 9名 |
| 後期第1回 | 『ピアサポーターとして活動を続けていくために』 | 6名 |
| 後期第2回 | 『ピアスタッフとリカバリー』 | 6名 |
| 後期第3回 | 『「ピア」って何？』 | 6名 |
| 振り返り | 振り返り・認定式 | 6名 |

協力団体:株式会社MARS／相談支援センターくらふと／地域活動支援センターこまつがわ

2020年度実績:就労3名 進学2名

活躍の場を開拓していきたい 青→地域 赤→活躍方法

地域で
活躍できる場

事業担当者は、区や学校、地域向けに
精神障害者が暮らしやすくなる理解・啓発活動の開拓

受講後は、区や学校、地域向けに
リカバリーストーリーを活用しながら理解・啓発活動に挑戦

ファシリテーターや
グループワークで
活躍できる場

事業担当者は、都や区、事業所や地域向けに
当事者だから効果的なグループワーク活動の開拓

ピアサポーター研修会、ファシリテーターの研修の受講
受講後は、ピアサポーター研修やピアミーティング等で実践

地域移行支援等で
活躍できる場

事業担当者は、
都内、都内近郊の地域移行支援に効果的な場の開拓
受講時は、都内、都内近郊の病院や地域移行支援の実習
受講後は、地域移行支援の実践

雇用で
活躍できる場

事業担当者は、ピアサポーター等の雇用先開拓
雇用先の事業所へアセスメントとアフターフォロー
受講時は、区内の障害福祉サービス等の実習
受講後は、個々のピアサポーター就労支援チームの構築

個別支援、定着支援

ピア就労の応援チーム

当法人のピア雇用のすみ分け

ピアスタッフ

ピアの専門性の業務と他のスタッフと区分けなく行う業務の兼務。常勤もあり。

ピアサポーター

ピアの専門性の業務を行う。
スポットで入ることから時給、非常勤。

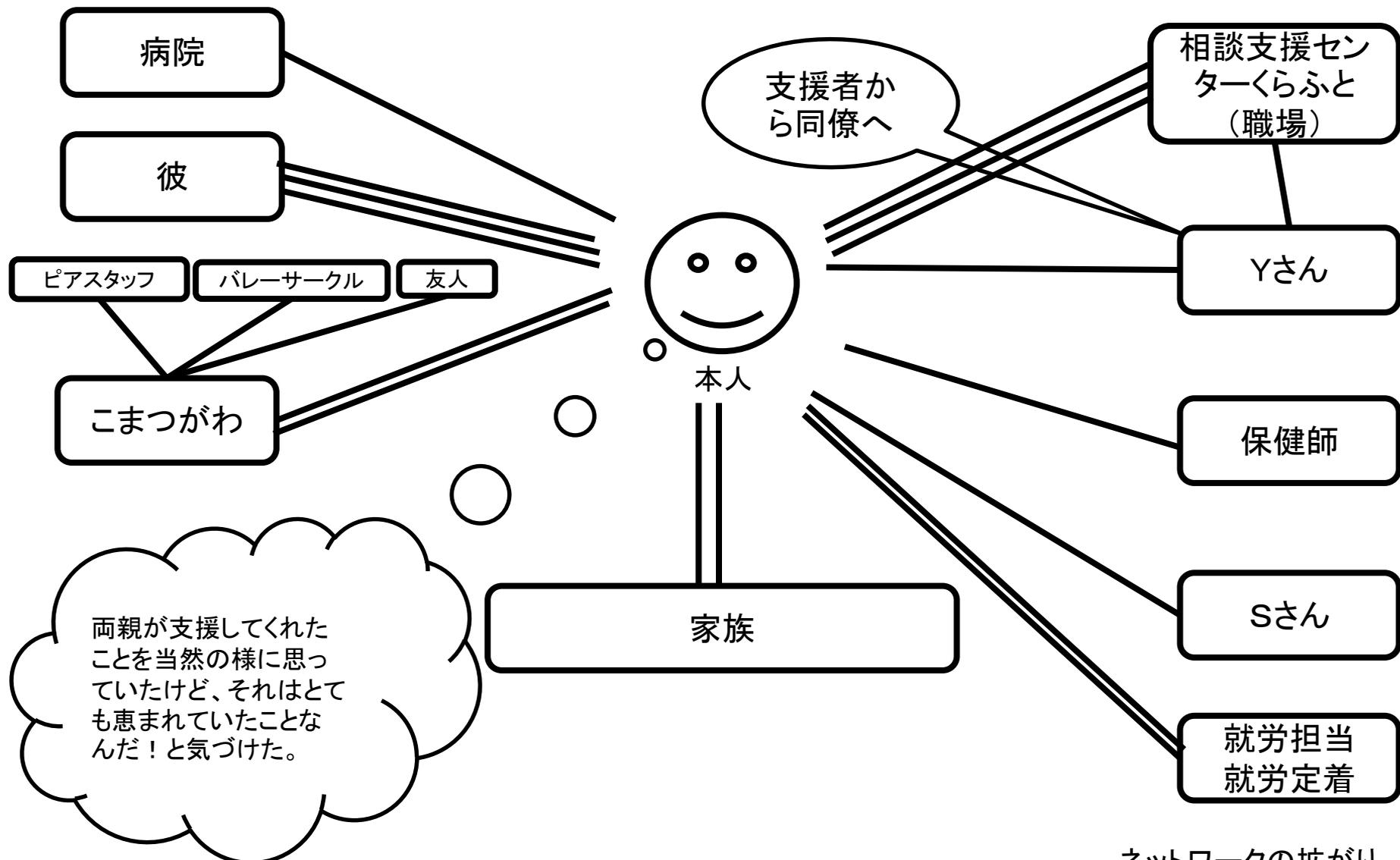
障害者雇用

障害の合理的配慮をするが、業務内容は配置された業務遂行を求め、ピアの専門性は求めない。常勤もあり。

応援チーム

| 事業所名 | 担当者 | かかわり |
|---------------------------|------------------|--|
| 区 地活 I 型 就労支援事業 | 就労支援担当 | 就労相談、調整 |
| 区 地活 I 型 | 担当スタッフ ピアスタッフ | ○年前からの通所先 |
| 相談支援センターくらふと (雇用先の事業所) | 管理者 | 雇用先の事業所 |
| 居宅介護 | 担当スタッフ | 家事等の支援 |
| 社会福祉法人ひらイルミナル (雇用先法人) | 理事長 | 雇用先の法人 事業所間の調整 大きな枠組みの合理的配慮 の調整 |

仕事・家族を作りたい／自立へ向かう現在



高田氏 リカバリーストーリーより抜粋

ネットワークの広がり

Aさんの応援チーム(例)

| 事業所名 | 担当者 | かわり |
|----------------------------------|------------------|--|
| 計画相談 基本相談 | 計画相談担当 ピアスタッフ | 認知修正 関係機関調整 |
| 就労支援センター | 就労支援担当 | 就労相談、調整 |
| 区 地活 I 型 | 担当スタッフ ピアスタッフ | 〇年前からの通所先 |
| 相談支援センターくらふと (雇用先の事業所) | 管理者 | 雇用先の事業所 |
| 地域活動支援センターこまつが わ (雇用先の事業所) | 管理者 ピアスタッフ | 雇用先の事業所 |
| 社会福祉法人ひらイルミナル (雇用先の法人) | 理事長 | 雇用先の法人 事業所間の調整 大きな枠組みの合理的配慮 の調整 |

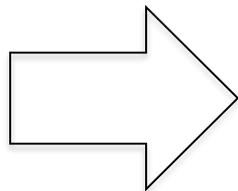
ピアの仲間づくり

ピアハートの森

ピアとして安心して続けられるために

葛藤

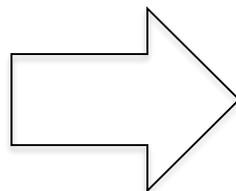
ピアの専門性と多職種連携
孤独 バウンダリー
人間関係
病気のつきあい などなど



離職やモチベーション
低下につながることも

自助グループ

ピアとして受け入れられる居場所
安心して語れる場



ピアハートの森を結成

リカバリーストーリーを活用した取り組み

ご清聴ありがとうございました。

第4回ピアサポート活動ワーキンググループ～人と場をつなぐ～

人が《地域》とつながる 《居場所》づくり

誰かとつながるって、
とっても勇気があるよね



社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
連携推進課 遠藤 慧

ご報告の流れ

1. 社会福祉協議会って？
2. 居場所って何？
3. 上北沢えんがわカフェの取り組み
4. ピアサポーター養成・活躍支援事業を通して

1. 社会福祉協議会って？ (今回のテーマに沿って)

社会福祉協議会は、**地域福祉の推進**を目的として、社会福祉法に定められた社会福祉法人です。

「地域福祉の推進」をもう少し具体的に…
→**福祉活動**に関わる住民・団体を増やしていく

「**福祉活動**」をもう少し具体的に…

- ・子ども食堂
- ・サロン活動
- ・福祉施設等でのボランティア etc

居場所をつくる

居場所につなぐ

2. 居場所って何？ ①地域移行・定着の視点から

《第3の居場所（サードプレイス）という考え方》

一輪車



二輪車



三輪車



車輪が多いほどバランスがとりやすくなる

不安定

安定

《日常生活に置き換えてみると（小学生を例に）》

家



学校



子ども食堂



居場所をつくる

居場所につなぐ

安心できる場所が増えるほど生活が安定

不安定

安定

② “誰でも”参加できる居場所づくりの課題
「居心地が良くないと居場所にならない」

居心地の良さを感じる条件は人それぞれ

→どのようなプログラムにするか

「誰でもどうぞ」で誰でも来るわけではない

→「来てほしい人」をどのようにお誘いするか

「来てほしい人」の支援者（専門職）の方々と一緒に企画をし、背中を押してもらうことが必要

3. 上北沢えんがわカフェの取り組み (平成30年度～)

【概要】

目的：“誰でも”参加できる居場所をつくる

主催：上北沢地区社会福祉協議会

(構成*町会自治会・民生委員・日赤奉仕団等)

協力：ぽーとからすやま、喫茶室パイン

相談支援事業所マーベラス、SUストリート

内容：昼食と飲み物の提供以外は自由

(協力事業所を通してアンケートを実施)

4. ピアサポーター養成・活躍支援事業 を通して

新しい場所に足を運び、人とつながることは
誰でも不安があり、勇気が必要
(場に**参加する人も**・場を**運営する人も**)

☆支援者（専門職）と居場所（人）がつながる

☆ピアサポーター養成事業を通して、様々な
居場所（人）とつながる経験を

ご清聴ありがとうございました



世田谷区社協キャラクター

ココロン